

## 平成16年度「福井元気宣言」推進に係る政策合意の取組結果

(平成17年3月末現在)

「福井元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成16年4月に知事と合意をした「政策合意」の取組結果について、次のとおり報告します。

平成17年3月

福祉環境部長 梅田 幸重

### 総括コメント

福祉の分野では、高齢者や障害者、子育てに係る施設整備のほか、高齢者の生涯学習機会や病児デイケアの充実など、ハード・ソフト両面にわたる施策に取り組みました。今後は、「福井県 元気な子ども・子育て応援計画」に基づき、少子化対策を全力で進めるとともに、子育てサポート事業など目標を達成できなかった事業については、十分な成果が得られるよう取り組んでいきます。

保健・医療の分野では、健康長寿の要因分析や夜間の小児救急医療の円滑な運営に成果が得られたほか、県独自のHACCP認証制度の創設など、食の安全確保の面でも着実に進めることができました。今後は、がん検診受診率の向上やへき地医師の養成確保に力を入れるとともに、関係部局と一体となって「健康長寿」に係る調査や研究開発を進め、本県のブランドとして内外に発信していきます。

環境の分野では、低公害車の導入促進や地域と一体となった里地・里山の保全・活用、鳥獣害対策などで概ね着実に事業を進めることができましたが、資源ごみをはじめとしたリサイクルの推進や廃棄物対策などについては、着実な成果が得られるよう今後さらに力を入れていく必要があります。

### 「政策合意」の取組項目に係る結果について

別紙「平成16年度 取組項目に係る結果報告(福祉環境部)」のとおりに

# 平成16年度 取組項目に係る結果報告 (福祉環境部)

(平成17年3月末現在)

【取組結果の区分】  
 ・目標を上回って達成しました。  
 ・目標を達成しました。  
 ・目標達成にはいたりませんでした。  
 ・取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
<b>重点項目</b> 1 きめ細かな子育て支援など少子化対策の推進 保護者が病気や残業等の際に、一時的に必要なきめ細かな子育て支援サービスを提供する「すみずみ子育てサポート事業」が、各地域で広く活用されるよう取り組みます。  [年間利用のべ人数見込 14,000人]		[成果等] 取組を継続中です。  市町村と事業を実施する団体との調整等により事業の開始が年度後半となったため、16年度の利用実績はあがりませんが、十分な潜在的ニーズがあることから、引き続き、市町村や関係団体等に働きかけていきます。  [年間延べ利用人数見込 684人]  新年度からは、保育士経験者等の個人もサービス提供主体となれるようにし、補助対象時間も延長する等、より利用しやすい制度に拡充し、各地域で広く活用されるよう努めます。	
「病児デイケア施設」をできるだけ早期に全市に設置することを目標とし、町村での設置も進むよう関係者へ働きかけるなど、積極的に取り組みます。  (新規補助事業実施 病後児保育 1市1施設 (H16年3月末現在 2市3施設) 病児保育 2市3施設 (H16年3月末現在 なし))		[成果等] 目標を上回って達成しました。  全市設置に向け、市や医師会、医療機関へ積極的に働きかけるとともに、町村に対しても取組みを働きかけました。  (新規補助事業実施 病後児保育 3市3施設 (H17年3月末現在 5市6施設) 病児保育 3市3施設 (H17年3月末現在 3市3施設))	
延長保育、放課後児童クラブ、児童館の充実・整備を着実に進めます。  (延長保育の充実 24か所 (H16年3月末現在 111か所) 放課後児童クラブの充実 13クラブ (H16年3月末現在 117クラブ) 児童館の整備 1か所 (H16年3月末現在 110か所))		[成果等] 目標を上回って達成しました。  市町村に積極的に働きかけ、延長保育と児童クラブについては目標を達成し、児童館については、目標を上回って整備しました。  (延長保育の充実 24か所 (H17年3月末現在 135か所) 放課後児童クラブの充実 13クラブ (H17年3月末現在 130クラブ) 児童館の整備 2か所 (H17年3月末現在 112か所))	
「まちなかキッズルーム」の整備に取り組み、特にニーズの高い民間施設での整備が進むよう、積極的に働きかけます。  [整備数25か所(H15年度 22か所)]		[成果等] 目標を上回って達成しました。  県、市町村施設に加えて、特にニーズの高いスーパーマーケット等民間施設での整備が進むよう、積極的に働きかけました。  [整備数30か所(うち民間施設15か所) (H17年3月末現在 52か所)]	

# 平成16年度 取組項目に係る結果報告 (福祉環境部)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】  
 ・目標を上回って達成しました。  
 ・目標を達成しました。  
 ・目標達成にはいたりませんでした。  
 ・取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
新たに実施する不妊治療にかかる治療費の助成事業を広く周知し、効果的に活用されるよう努めます。		<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>医療機関の協力によるチラシの配布等により広く制度を周知するとともに、住所地以外の健康福祉センターでの申請受け、適切な医療機関の指定等により、効果的に活用されるよう努めました。</p> <p>助成事業を始める段階では、100件程度の利用を想定していましたが、大幅に上回りました。</p> <p>助成件数165件（見込）</p>	
平成16年4月から嶺南地域へも拡充した夜間における小児救急医療を、協力病院や医師会と協力して円滑に運営します。		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>小児救急輪番制の各病院（嶺北5、嶺南3の計8病院）や「県医師会小児科医会」との意見交換などを行い、協力病院や医師会と協力して夜間における小児救急医療を円滑に運営しました。</p> <p>新年度からは、夜間の子ども医療電話相談も行います。</p>	
「こども家族館（仮称）」の整備に向け、地域で十分活用される施設とするよう、今年度、設計プロポーザルを進めます。		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>建築に係る設計プロポーザルを進め、17年3月に設計業者を決定しました。</p> <p>17年度は、建築および展示・遊具の基本設計、実施設計を行い、18年度に工事に着工し、20年度の完成を目指します。</p>	
新たな少子化対策プラン（エンゼルプラン）の年内策定へ向け、「男性を含めた働き方の見直し」など、本県の特性を十分踏まえた効果的な計画となるよう取り組みます。		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>年内の策定はできませんでしたが、策定に当たっては、本県の特性を十分踏まえた効果的な計画となるよう様々なデータの分析結果、県民アンケートやシンポジウム、パブリックコメント等によりいただいた幅広いご意見、ご提案を踏まえ、17年3月に「福井県 元気な子ども・子育て応援計画」を策定しました。</p>	
<p>2 元気百歳プロジェクト等「健康長寿福井」の推進</p> <p>(1) 「元気な福井の健康づくり応援計画」に掲げた健康づくり施策の着実な推進</p> <p>ホームページ「ふくい健康広場」での健康づくり実践団体の幅広い情報提供などにより、一団体一健康づくり運動を拡大します。</p> <p>（健康づくり実践団体の新規登録数 100団体 （H16年3月末現在 28団体）</p>		<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>ホームページ「ふくい健康広場」での健康づくり実践団体やイベント講座の紹介、「健康フェスタ2004」での活動発表会の開催などにより、一団体一健康づくり運動を拡大しました。</p> <p>（健康づくり実践団体の新規登録数 125団体 （H17年3月末現在 153団体）</p>	

# 平成16年度 取組項目に係る結果報告 (福祉環境部)

(平成17年3月末現在)

- 【取組結果の区分】
- ・目標を上回って達成しました。
  - ・目標を達成しました。
  - ・目標達成にはいたりませんでした。
  - ・取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
健康長寿要因の調査・分析、本県独自の健康寿命算定方法の開発、健康長寿をテーマとするフォーラム開催など、新たな取組みを進め、「健康長寿福井」を県内外に発信します。		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>様々な統計データの分析や栄養摂取状況、生活習慣全般に関する調査を行い、本県の健康長寿要因を分析しました。また、本県独自の健康寿命算定方法の開発、健康長寿をテーマとするフォーラムの開催などにより「健康長寿福井」を県内外に発信しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・16年11月に「健康長寿フォーラム in 福井」を開催 (参加者約330人)</li> </ul>	
市町村、事業所における歯科健診の普及や8020(80歳まで自分の歯を20本)運動の普及啓発等により、県民の歯の健康を促進します。		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>市町村、事業所における歯科健診の普及や8020(80歳まで自分の歯を20本)運動の普及啓発等により、県民の歯の健康を促進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村、事業所で歯科健診説明会を開催(計183か所)</li> <li>・成人歯科保健事業(20歳~40歳までの住民を対象)の実施 (15年度 10市町村 16年度 14市町村)</li> <li>・老人保健事業(40,50,60,70歳の住民を対象)の実施 (15年度 5市町 16年度 6市町村)</li> <li>・むし歯予防パンフレットを作成、配布(100,000部)</li> <li>・市町村や学校の歯科保健指導者等を対象に、むし歯予防講習会を開催(2回)</li> <li>・歯科医師や歯科衛生士等の歯科保健医療従事者を対象に研修会を開催(1回)</li> </ul>	
<p>(2)がん検診の徹底等がん対策の充実</p> <p>専門医と共同して全市町村のがん検診の特徴や課題を把握し、必要な助言を行い、市町村が行うがん検診の受診率の向上を図ります。</p>		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>市町村のがん検診の課題を分析し、専門医による指導を全市町村で実施した結果、目標までにはいたらなかったものの、市町村が行うがん検診のうち、肺がんと大腸がんについては受診率が向上しました。</p>	
<p>がん検診受診率(H16年度目標)</p> <p>胃がん 13%(H15年度見込 12%)</p> <p>肺がん 30%(H15年度見込 28%)</p> <p>大腸がん 19%(H15年度見込 18%)</p>		<p>がん検診受診率</p> <p>胃がん 12.3%(H15年度実績) 12.0%(H16年度見込)</p> <p>肺がん 28.4%(H15年度実績) 28.9%(H16年度見込)</p> <p>大腸がん 18.0%(H15年度実績) 18.2%(H16年度見込)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診受診勧奨メッセージをホームページで発信 (3月、一般県民5名、専門医1名)</li> <li>・職域におけるがん検診の実施状況を把握し、事業所の安全衛生管理者等を対象とした講習会を開催 (3回開催、約230人参加)</li> </ul>	

## 平成16年度 取組項目に係る結果報告 (福祉環境部)

(平成17年3月末現在)

【取組結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。
- ・目標を達成しました。
- ・目標達成にはいたりませんでした。
- ・取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
若狭湾エネルギー研究センターにおける陽子線がん治療研究の成果を活かし、「陽子線がん治療センター(仮称)」の整備へ向け、基本計画を策定します。		〔成果等〕 取組を継続中です。 17年3月に策定した「エネルギー研究開発拠点化計画」の中で、「広く県民が利用できる陽子線がん治療施設を新たに整備する」ことを明記しました。	
<b>個別項目</b> 1 一人ひとりの命が輝く福祉の推進 (1) 福祉を支える体制の整備 地域福祉活動を実践する人材育成に取り組み、コミュニティ単位で、NPOや地域コミュニティが連携して高齢者や障害者等を支える仕組みづくりを進めます。		〔成果等〕 取組を継続中です。 地域福祉活動の推進を担う人材の養成研修を実施しました。(4回)また、県の広報番組(テレビ、ラジオ)を活用したボランティア活動の紹介や、市町村社会福祉協議会に対する働きかけに加え、7月の福井豪雨時にボランティア参加者が急増したこともあり、福祉ボランティア新規登録者数については、目標を上回って達成しました。 地域支え合いの仕組みづくり事業への支援については、目標達成にはいたりませんでした。	
(福祉ボランティア新規登録者数 4,000人 (H16年3月末現在 81,709人) 地域支え合いの仕組みづくり事業への支援 22地域)		(福祉ボランティア新規登録者数 10,357人 (H17年2月末現在 92,066人) 地域支え合いの仕組みづくり事業への支援 10地域)	
特別養護老人ホームなどの介護施設の整備に向け、可能な限り財源の確保に努めるとともに、事業者の自己資金による整備も促進します。また、在宅高齢者が地域で気軽に利用できるデイサービス拠点の整備を支援し、高齢者ができるだけ家庭での生活が継続できるよう取り組みます。こうした施設整備と在宅福祉の充実により、「待機者ゼロ県」を目指します。		〔成果等〕 目標を上回って達成しました。 可能な限り財源の確保に努め、介護施設の整備を進めるとともに、事業者の自己資金による整備も促進しました。また、既存の民家等を活用してデイサービスを行う施設の整備にも取り組みました。	
(介護施設整備目標数 260床以上 (H16年3月末整備数 7,770床) 地域共生型デイサービス事業所 8か所整備)		(介護施設整備数 319床(整備中を含む。) (H17年3月末整備数 8,089床) 地域共生型デイサービス事業所 17か所整備)	

# 平成16年度 取組項目に係る結果報告 (福祉環境部)

(平成17年3月末現在)

- 【取組結果の区分】
- ・目標を上回って達成しました。
  - ・目標を達成しました。
  - ・目標達成にはいたりませんでした。
  - ・取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
<p>障害者施設やデイサービス、知的障害者のグループホーム等を計画的に充実します。</p> <p>(障害者施設定員数増 47人 (H16年3月末 3,081人) 障害児(者)に対するホームヘルパー数増 22人(21,560時間) (H16年3月末 78人、76,808時間) 知的障害者のグループホーム入居者数増 33人 (H16年3月末 143人))</p>		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>施設については、必要な整備は行われたものの、既存施設において定員の見直し等もあり、目標を若干下回りました。ホームヘルプサービスについては、支援費制度の定着に伴う利用増により、当初目標の1.8倍と目標を大幅に上回りました。グループホームについては、実際の入居者数は目標を若干下回ったものの、必要な所数は当初からの予定どおり整備し、16年3月末で34か所であったものが、41か所に増加しました。</p> <p>(障害者施設定員数増 44人 (H17年3月末 3,125人) 障害児(者)に対するホームヘルパー数増 40人(39,130時間) (H17年3月末 118人、115,938時間) 知的障害者のグループホーム入居者数増 28人(整備か所数 7か所) (H17年3月末 171人))</p>	
<p>(2) 高齢者や障害者の社会参加の促進(財)福井県すこやか長寿財団が行う各種講座の拡充を図るほか、市町村や関係部局と連携しながら、公民館等の身近な施設での高齢者向け学習講座の充実などに取り組み、高齢者の生涯学習機会の充実を図ります。</p> <p>(チャレンジ塾と高齢者ラジオ講座の参加者数 3割(150人)以上増加)</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>講座の種類を増やすなど、財団が実施するチャレンジ塾を拡充するとともに、公民館等で、警察や市町村から講師を招き悪徳商法や年金問題等に関する講座を開催するなど、高齢者の生涯学習機会の充実を図りました。</p> <p>(チャレンジ塾と高齢者ラジオ講座の参加者数 31%(157人)増加)</p>	
<p>障害者、高齢者、幼児を含む全ての県民が、容易で安全に暮らせるよう設計された「ユニバーサル・デザインのまちづくり」を推進するため、県有施設、市町村施設、民間施設のバリアフリー化を積極的に推進します。</p> <p>(県有施設 10施設 市町村施設 4施設 民間施設 15施設)</p>		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>県有施設については、10施設をバリアフリー化し、10年度から計画的に進めてきた整備を完了しました。市町村施設については、3施設の整備となりました。民間施設については、施設数の目標は若干下回ったものの、整備が必要な箇所が複数ある場合には、一度に整備したいという施設設置者の要望を踏まえて対応したため、効果的な整備内容とすることができました。</p> <p>(県有施設 10施設 市町村施設 3施設 民間施設 13施設)</p>	

# 平成16年度 取組項目に係る結果報告 (福祉環境部)

(平成17年3月末現在)

- 【取組結果の区分】
- ・目標を上回って達成しました。
  - ・目標を達成しました。
  - ・目標達成にはいたりませんでした。
  - ・取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
平成17年度に本県で開催される「日本身体障害者福祉大会・第50回大会」のプレ大会として、本年秋に、全国から関係者の参加を得て、「障害者の自立を考えるフォーラム2004」を開催します。		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>「障害者の自立を考えるフォーラムINふくい」を開催しました。</p> <p>日時 平成17年3月12日（基調講演、シンポジウム） 13日（分科会）</p> <p>会場 国際交流会館</p> <p>参加者 延べ640人</p>	
障害者の自立を促進するため、授産活動の振興および授産製品の販売拡大へ向け、県内の授産施設等の協議会による拠点組織の年度内の設立を支援します。		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>拠点組織の設立準備会等に参加し、法人化への事務手続等に関する助言や、健全な運営に向けた収支計画等に関して指導を行い、17年4月1日にセルフ振興センター（仮称）が開設することになりました。法人化については引き続き指導・支援してまいります。</p>	
2 質の高い医療サービスの提供 医療サービスの向上を図るとともに地域の医療資源を有効に活用するため、医療関係者等による協議会を設置し、相互の機能分担と連携、人材確保等の取組みを進めます。		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>福井大学医学部や公立病院関係者等で構成する「へき地の医師確保対策協議会」を6月に設置し、医師の養成・確保等について協議しました。</p> <p>また、病院関係者による「医師確保対策に係る意見交換会」（17年2月）を持ち、その成果として、県内病院での臨床研修医を確保するため、県内7病院が連携して医学生を対象とした臨床研修病院合同説明会（17年3月）を開催しました。</p> <p>なお、新年度からは、へき地への派遣医師を養成するための研修制度をスタートさせます。</p>	
新県立病院において第三者機関による病院機能評価認定審査を受け、医療の質と利用者サービスの一層の向上を図ります。		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>16年6月に、病院内に「病院機能評価推進委員会」を設置して準備を進め、17年2月に（財）日本医療機能評価機構による訪問審査を受審しました。17年7月には、病院機能評価の認定を取得できる見込みです。</p>	
新県立病院内の難病支援センターを充実し、専門家による定例相談や患者会によるピアカウンセリングの実施、医療従事者の専門研修会の開催等、相談支援体制を強化します。		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>専門医師による定例相談会（毎月第2木曜日）や患者会によるピアカウンセリング（毎月第2・3木曜日）の実施、医療従事者の専門研修会の開催等、相談支援体制を強化しました。</p>	
<p>（専門家による定例相談会 年間10回） （ピアカウンセリング 年間20回） （専門研修会 年間4回）</p>		<p>（定例相談会 年間10回） （ピアカウンセリング 年間20回） （専門研修会 年間4回）</p>	

# 平成16年度 取組項目に係る結果報告 (福祉環境部)

(平成17年3月末現在)

【取組結果の区分】  
 ・目標を上回って達成しました。  
 ・目標を達成しました。  
 ・目標達成にはいたりませんでした。  
 ・取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
<p>3 食の安全・安心の確保                      生産者、製造・加工業者、流通業者、販売業者、消費者および行政が一体となって食の安全・安心を確保するため、「ふくい食の安全・安心行動計画」に基づく新たな取組みを精力的に進めます。</p> <p>県独自のHACCP認証制度の創設                      食品表示、食品衛生の監視指導・検査の充実強化                      食中毒発生減少に向けた取組み（10万人当たりの発生状況の少なさ全国上位を目標）                      県民運動の展開（食の安全・安心会議（仮称）、意見交換会、シンポジウムの開催）</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>「ふくい食の安全・安心行動計画」に基づく新たな取組みを精力的に進めました。</p> <p>(1)県独自のHACCP認証制度の創設                      ・16年12月に県独自のHACCP認証制度を創設するとともに、制度説明会（3回）を開催しました。（230名参加）                      ・17年4月から、認証取得の受付を開始します。</p> <p>(2)食品表示、食品衛生の監視指導・検査の充実強化                      許可施設監視指導数（見込）12,500件                      （前年度比 2,260件増）                      給食施設監視指導数（見込）780件                      （前年度比 300件増）</p> <p>(3)食中毒発生減少に向けた取組み                      食中毒発生状況                      11件、51名（15年）〔全国第7位〕                      9件、104名（16年）〔全国第10位（速報）〕                      全国順位は人口10万人当たりの食中毒患者数の少なさ</p> <p>(4)県民運動の展開                      ・ふくい食の安全・安心会議を2回開催                      ・現地見学・意見交換会を3回開催、延べ154名参加                      ・「ふくい食の安全・安心を考えるフォーラム」を16年10月に開催、480名参加</p>	
<p>4 持続可能な資源循環型社会の構築                      グリーン購入の促進、リサイクル製品の需要拡大を図るため、市町村や民間事業者の取組みを強く促します。</p> <p>グリーン購入調達方針策定市町村                      4市町村                      （H16年3月末現在 6市町村）                      グリーン購入ふくいネット会員数                      31                      （H16年3月末現在 329）</p>		<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>グリーン購入の促進等について、市町村や合併協議会と個別に協議するとともに、民間事業者にも呼びかけるなど、市町村や民間事業者の取組みを強く促しました。</p> <p>グリーン購入調達方針策定市町村 新規策定5市町                      （H17年3月末現在 11市町村）                      グリーン購入ふくいネット会員数 50会員増                      （H17年3月末現在 379）</p> <p>リサイクル認定製品 14品目増</p>	
<p>地球温暖化防止に向け、家庭や事業所における省エネルギー等の実践活動の輪がさらに広がるよう、必要な働きかけを強化します。</p> <p>温暖化ストップ親子大作戦の応募                      1,000家庭                      （H15年度 631家庭）                      エコオフィス宣言事業所 87事業所                      （H16年3月末現在 313事業所）</p>		<p>〔成果等〕 目標を上回って達成しました。</p> <p>各健康福祉センター等と連携して、家庭や事業所に省エネルギー等の実践活動への取組みを呼びかけるなど、働きかけを強化しました。</p> <p>温暖化ストップ親子大作戦の応募 1,187家庭                      エコオフィス宣言事業所 171事業所増加                      （H17年3月末現在 484事業所）</p>	



## 平成16年度 取組項目に係る結果報告 (福祉環境部)

(平成17年3月末現在)

取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。  
 ・目標を達成しました。  
 ・目標達成にはいたりませんでした。  
 ・取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
低公害車購入に対する補助事業の積極的なPRを進め、低公害車の普及促進を図ります。  (低公害車補助台数 300台)		【成果等】 目標を達成しました。  低公害車購入に対する補助制度の創設を各市町村に働きかけるとともに、自動車販売店等を通じた積極的なPRや、燃料電池自動車等の展示・試乗を行う低公害車フェアを開催(16年10月16・17日、ショッピングシティベル)するなど、低公害車の普及促進を図りました。  (低公害車補助台数 約300台) (H15年度 120台)	
県民が分別排出しやすい資源ごみ回収拠点整備の支援などにより、プラスチック容器包装のリサイクル率向上のための取組みを進めます。  (プラスチック容器のリサイクル率 (H16年度目標) 16%)		【成果等】 目標達成にはいたりませんでした。  資源ごみ回収拠点74か所を整備し、マイバッグキャンペーンを実施する中で、プラスチック容器包装のリサイクル推進を進めましたが、リサイクル率は当初の想定より向上しませんでした。 17年に環境省はリサイクルシステムを効率化させるため、プラスチック等の熱回収を進める方向であり、今後県としても、この方針を取り入れ、リサイクルの向上を進めていきます。  (プラスチック容器のリサイクル率 約10%(原料リサイクルのみの場合))  ・マイバッグキャンペーン(10月実施) 参加協力 224店舗 レジ袋削減枚数 188,575枚	
広報キャンペーンやホテル業界等関係者との意見交換を通じ、食べ残しごみの減量化に取り組めます。		【成果等】 取組を継続中です。  広報キャンペーン、ホテル業界等関係者との意見交換やアンケートの実施により、食べ残しごみの減量化に取り組めました。 ・ホテル業界等関係者との意見交換(12社) ・県民アンケート、業界アンケートの実施 ・新聞(7回)、テレビ(1回)、ラジオ(1回)、地元生活情報誌(4回)等による広報およびポスター・チラシの配布 ・事業者への働きかけ ・県庁職員への働きかけ(職員食堂2箇所において食べ残し減量ステッカーの貼付)  17年度以降も、県、市町村等の既存広報媒体を活用した広報を実施し、食べ残しごみの減量化に取り組めます。	

# 平成16年度 取組項目に係る結果報告 (福祉環境部)

(平成17年3月末現在)

取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。  
 ・目標を達成しました。  
 ・目標達成にはいたりませんでした。  
 取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
「福井県廃棄物処理計画」に定める一般廃棄物の排出量およびリサイクル率の目標値について実情に即した見直し検討を行います。		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>「福井県廃棄物処理計画」に定める一般廃棄物の排出量およびリサイクル率の目標値について実情に即した見直し検討を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の過去5年間の一般廃棄物の排出状況について分析</li> <li>・他都道府県計画の目標値および設定の考え方を整理</li> <li>・22年度における一般廃棄物の排出量・リサイクル率を予測</li> <li>・17年度の廃棄物処理計画見直し作業の中で新たな目標値を設定</li> </ul> <p>産業廃棄物については、排出事業者に対し産業廃棄物実態調査を実施し、15年度の県内産業廃棄物発生量は、12年度に比べ減少し、リサイクルも進んでいることを把握しました。この調査結果も踏まえて17年度に廃棄物処理計画の見直しを行います。</p>	
自動車リサイクルについて、解体部品の供給方法や車の引取り処理などのネットワーク化の検討を進め、繊維リサイクルについては、プラスチック素材等を利用している産業と連携したりリサイクル化の推進について、可能性の検討を進めます。		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>自動車リサイクルについて、解体部品の供給や車の引取り処理などのネットワーク化を検討するとともに、繊維リサイクルについては、プラスチック素材等産業との連携したりリサイクル化推進の可能性を検討しました。</p> <p>(1)自動車リサイクル                  現状や課題を把握するため、県内外の自動車リサイクル企業への訪問調査や販売店協会関係者との意見交換会を行い、ネットワーク化の検討を進めました。                  県自動車整備商工組合が、県内のリサイクル事業者2社との間で使用済み自動車の適正処理およびリサイクル部品の供給について業務提携したほか、嶺南地域の自動車整備関係団体も県外のリサイクル事業者との間で、使用済み自動車の引き取りの一元化を図ることを目的とした解体提携契約を締結するなど、自動車リサイクルの適正処理に向けたネットワークの整備が進みました。</p> <p>(2)繊維リサイクル                  繊維リサイクルについて、プラスチック素材等を利用している眼鏡や漆器産業と連携したりリサイクルの可能性を検討してきましたが、それぞれ技術上の困難性や処理コスト、素材の性格の違いなどから、困難であることが判明したことから、検討を打ち切りますが、企業の動向やリサイクル技術等について、引き続き情報収集に努めます。</p>	
5 産業廃棄物の適正処理の推進 敦賀市民間最終処分場問題の対応として、技術的にも経済的にも合理的かつ効果的な対策を検討するとともに、国および敦賀市と協議を重ね、「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」の適用を受けるための取組みを進めます。		<p>〔成果等〕 取組を継続中です。</p> <p>当処分場の抜本対策を検討するため、敦賀市と共同して専門家や敦賀市住民等で構成する「敦賀市民間最終処分場環境保全対策協議会」を設置し、廃棄物の分布状況や浸出水の流出経路などの基礎調査の結果をもとに、対策案の検討を進めました。</p> <p>17年度は、さらに詳細な調査を実施し、対策方法を決定するとともに、設計作業や特別措置法の適用を受けるための実施計画の作成などを行っていきます。</p>	

# 平成16年度 取組項目に係る結果報告 (福祉環境部)

(平成17年3月末現在)

- 取組結果の区分】  
 ・目標を上回って達成しました。  
 ・目標を達成しました。  
 ・目標達成にはいたりませんでした。  
 ・取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
「リサイクル推進センター(仮称)」整備構想については、民間リサイクル施設の動向、県外産業廃棄物処理施設の受入動向、市町村の一般廃棄物焼却残さの処理動向等を踏まえ、構想具体化の必要性も含め、様々な角度から検討を深めます。		〔成果等〕 取組を継続中です。 産業廃棄物処理業者に対する処理実績調査、産業廃棄物多量排出事業者に対する排出実態調査、産業廃棄物実態調査を実施し、福井県環境・エネルギー懇話会との意見交換を行いました。 17年度に廃棄物処理計画の見直しを行う中で、この調査結果を基に、公共関与による産業廃棄物処理施設の整備のあり方や構想具体化の必要性も含めて、検討を深めます。	
(財)福井県産業廃棄物処理公社の管理型最終処分場は、埋立残余容量などを勘案し、整備に向けて取り組みます。		〔成果等〕 取組を継続中です。 地元住民に対し説明を行い、新たに整備する管理型最終処分場の設計に着手しました。17年度に土地を取得した後、造成工事に着手します。	
産業廃棄物処理法上の立入検査権を有する市町村併任職員が未設置の市町村に対して設置を働きかけ、県下全域における廃棄物の不法投棄に関する監視体制を強化します。		〔成果等〕 目標を達成しました。 併任職員が未設置であった13市町村も含め、全ての市町村で設置(計77人)しました。	
6 福井の豊かで美しい自然の保全と活用 「ふくい環境力向上プロジェクト推進事業」を効果的に進め、子供たちと地域が主体的に行う、地域の課題や資源を活かした環境保全活動を促進します。  (地域連携モデル事業 10件) (県内4ブロック)		〔成果等〕 目標を達成しました。 子供たちと地域の環境保全団体が協働で行う環境保全活動を10件選定・実施するとともに、ブロック懇談会や活動交流会等を開催しながら、地域の資源を活かした環境保全活動を効果的に促進しました。  (地域連携モデル事業 10件) (県内3ブロック) ・ブロック懇談会 3ブロックで各2回開催 ・活動交流会 平成17年2月27日(国際交流会館)	

# 平成16年度 取組項目に係る結果報告 (福祉環境部)

(平成17年3月末現在)

- 【取組結果の区分】
- ・目標を上回って達成しました。
  - ・目標を達成しました。
  - ・目標達成にはいたりませんでした。
  - ・取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
<p>自然体験、農業体験、食体験等福井県の魅力を活かした「福井型エコツーリズム」を推進するため、モデル3地区(大野、池田、三方)において地元住民とのワーキングを開催しながら、地元と一体となって自然体験プログラムを年度内に開発します。</p> <p>(ワーキング開催 3地区でそれぞれ3回)</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>モデル3地区(大野、池田、三方)において地元住民とのワークショップを開催しながら、自然体験プログラムを開発しました。</p> <p>(ワークショップ開催 3地区でそれぞれ3回)</p>	
<p>生物多様性を確保するうえで重要な30地区の「重要里地里山」を選定・公表し、このうち、関係部局と連携しながら支援する10地区のうち2地区を年度内に選定します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>生物多様性を確保するうえで重要な30地区の「重要里地里山」を17年3月に選定・公表しました。今後は、武生市西部地区と三方地区において、環境学習やエコツーリズム等について支援していきます。</p>	
<p>希少生物が多く生息している武生市西部地区の里地里山を地域が一体となって保全活用していくため、住民参加によるワークショップも行いながら、「人とメダカの元気な里地づくりビジョン」を年度内に策定します。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>17年3月に「人とメダカの元気な里地づくりビジョン」を策定しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・16年6月に武生市西部地区が国の里地里山保全再生モデル事業地域に選定</li> <li>・ビジョン策定検討会を3回開催</li> <li>・住民参加によるワークショップを4回開催</li> <li>・地元小中学校による環境学習を実施</li> </ul>	
<p>福井の豊かで美しい水資源の活用方策について、福祉環境部が中心となって庁内で検討を進め、特に福井の水を新たなブランドとする取組みについて、その考え方を年内に取りまとめます。</p>		<p>〔成果等〕 目標を達成しました。</p> <p>福井の豊かで美しい水資源の新たな活用方策について、各部局等と協議、検討を行い、3月に考え方を取りまとめました。</p> <p>また、17年度には、名水を活かした地域づくりへの支援等の新規事業を実施するなど、今後とも、福井の水資源の積極的な活用を進めます。</p>	

## 平成16年度 取組項目に係る結果報告 (福祉環境部)

(平成17年3月末現在)

取組結果の区分】・目標を上回って達成しました。  
 ・目標を達成しました。  
 ・目標達成にはいたりませんでした。  
 ・取組を継続中です。

役職	福祉環境部長	氏名	梅田 幸重
取組項目		取組結果	
農林業に被害を与えている鳥獣駆除のため、市町村や関係団体と連携して新たな対策に取り組み、成果を挙げます。  ( 広域一斉予察駆除の実施 ( 捕獲目標数 700頭) 被害の重点地域に対する指導の強化 ( 7地域) )		【成果等】 目標を上回って達成しました。 農林業に被害を与えている鳥獣駆除のため、市町村や関係団体と連携して新たな対策に取り組みました。 (1)広域一斉予察駆除の実施 8月から9月の2か月間において、27市町村で地域や時期をそれぞれ選定して実施 ・イノシシ691頭、シカ175頭、計866頭を駆除 ・シカについては17年3月にも実施 (2)16年9月にシカの特定鳥獣保護管理計画を策定 (3)捕獲隊員を対象にした檻と銃による捕獲技術養成研修を開催(檻の研修125名、銃の研修330名参加) (4)被害重点地区での地元住民を対象とした学習会を実施(7地域で計21回)	